

六島インターンシップ事業

六島まちづくり協議会

よそ若者ととともに学び、
チャレンジし、次代へ

岡山県最南端 瀬戸内の真ん中に位置し 香川と広島との県境にあり、岡山県で初めてできた灯台の眼下には 燧灘が広がる 周囲4.2キロ 小学生は5人 園児1人 中学生は 神外中学校にスクールボートで通学 公共の建物は 小学校と公民館 月2回 市民病院から診療所が開かれる。又20年余り前から山の中の水仙を 陽の当たる場所に移植して「灯台と水仙の島づくり」を行っている 人口60人余りの小さな島である。まちづくり協議会が発足して 過疎高齢化の進む中 大学生のインターンシップ事業を

を行う、外からきた若者が 1か月程 滞在してもらい
六島の気づきを提言してもらいまちづくりに生かそう
とするもの。 六島まちづくり協議会の

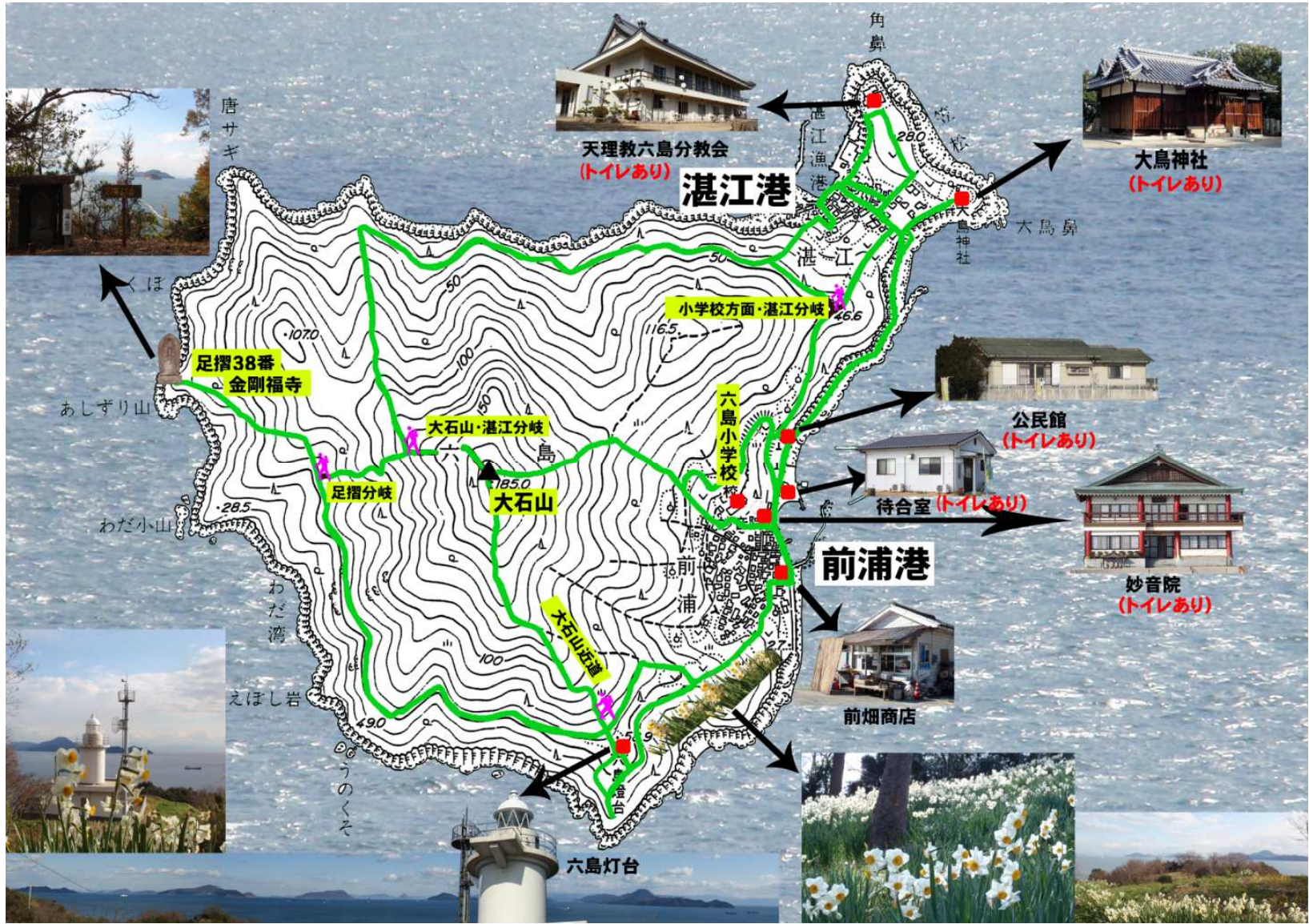
1 住みやすい島づくり

1 人が輝くまちづくり

1 次代に繋ぐまちづくり

をもっとこうに コツコツ活動している

平成2 年から9期生まで24人のインターン生が来
島 報告会には 島内外から参加して開催。 その中
で 空き家を利用した「島小屋」が28年11月に完
成し 動き出した。



**2期生報告会で可視化
された模型は 空家の多
さに島民は驚く。**



高齢化の進む湛江地域 に 高齢者の居場所づ くり 名付けて「島小屋」 を提案



僻地の小学校の教育を学 び 授業に参加 インター ン生を前に 思い切り ボール蹴ることの愉快さ



2期生が陣中見舞いに 思いを共有して島小屋づくり



シーガラスを使ってステンドガラス風に完成

5期生から 空家解体始まる





**地域の行事
にも参加**









活用されていること











